



川内小学校だより

# ゆずり葉

第12号

令和2年12月3日  
桐生市立川内小学校発行



## 学校公開、お世話になりました。

11/26の学校公開には保護者の皆様多数の参観をいただきありがとうございました。また、事前にメール配信させていただいた件では、密にならないような参観のスタイルについてご理解とご協力をいただきました。校内作品展では公開日前からご来校いただいたご家庭もあり、おかげ様で分散型のスタイルを取ることができました。



ご参観いただき、授業中の子どもたちの取り組む姿はいかがでしたでしょうか。職員側からの印象としては普段通りの姿勢で取り組んでいたと感じていますが、子どもによっては家族が後ろにいることで、少々張り切っていたかもしれませんね。日々感じる事として、川内小の子どもたちは学習に対して意欲的かつ粘り強さの面で、かなり充実しているという印象があります。昨年度末の学力テストでも、全学年がほぼ県平均を上回っている結果を出していることでも、このことを証明しています。

12月（師走）に入り、令和2年も僅かとなってきましたが、子どもたち、そしてご家族が明るく元気に年末年始を迎えることができることを願っております。



## 実践的な火災避難訓練

11/20（金）の休み時間に子どもたちには予告なしの避難訓練を実施しました。近年、避難訓練の在り方が問われてきており、いつどんな時間帯に、どの場所から火災が発生しても、迅速かつ的確に安全に避難できるような対応力を培っていく必要があるとされてきています。そこで、今



回の火災避難訓練は「近々避難訓練をするかもしれないよ。」とだけ伝えておき、教職員にもこの時間に行うことを告げずに実施しました。休み時間の最中だったので、子どもたちは思い思いの場所で様々な過ごし方をしていましたが、非常ベルの音と放送による避難指示に慌てず騒がず、手際よく校庭に避難することができました。これを機に、今後は自然災害発生時を想定した避難や、不審者の侵入による危機的事態を想定した避難訓練なども、より実践的な訓練の形で実施していこうと思います。たとえ訓練とは言え、真剣に取り組みこれを積み重ねていくことが、万が一の際に自分や周囲の人たちの生命や安全を守っていくことにつながると考えます。

## 持久走トライアル

例年行ってきた持久走大会ですが、今回はコロナ禍の状況での実施ということもあり、学校敷地外に出ずに校庭のみを使用して実施する「持久走トライアル」というスタイルに変更させていただきました。応援にお越しいただいた保護者の皆様には、カラーコーンを往復する子どもの姿をご覧いただく中、多少の物足りなさを感じたことかもしれません。“スタートがあってゴールがある”が当たり前になっていた感覚からは、拍子抜けする思いも否めませんが、今回のスタイルは「持久力を高めるための学習」と捉え、ご理解いただければ幸いです。



昨今、安全面からの配慮で持久走大会そのものを行わない傾向が全国的に出てきています。…とは言え、安全面だけを最優先してしまうと、多くの学習や活動がかなりの制限を余儀なくされ、せっかく学べることがあり、身に付けられる多くのことまで犠牲になることを考えると、非常に悩むところです。

こうしたことを総合的に考え判断しながら、今後の活動や行事に臨んでいこうと思います。